

一日限りの文化財展示

お寺で仏画公開

日時

1月19日(日)
10時～15時



西光寺の仏画公開

市内4カ寺に所蔵されている国指定重要文化財、県指定有形文化財の仏画を一日限りで公開します。

◆場所と公開仏画

●長徳寺(横須賀)

国指定重要文化財

「愛染明王像」、「普賢延命菩薩像」

●福善寺(八日市場イ)

県指定有形文化財

「高野四社明神図」、「十二天像」、「真言八祖像」計21幅

●西光寺(八日市場ホ)

県指定有形文化財

「十王図」全10幅

※西光寺では、寶光寺(貝塚)で保存されている県指定有形文化財「阿字観像」も公開されます。

問生涯学習課生涯学習室

☎67・1266

No.224

匠瑳探訪

寒中念仏

宮本を歩く

「寒念仏」「寒中念仏」という言葉があります。1年でもっとも寒さの厳しい小寒から立春の前日までの30日間、鉦をたたき声高く念仏を唱えながら仏堂や家々を巡る行事とされます。

江戸時代、市内の真言宗寺院の念仏講では「寒念仏」、日蓮宗の寺での題目講では「寒行」などが行われていたと考えられますが、現在確認できるのは宮本村(匠瑳地区)だけです。熊野神社に面した台地麓の石像(六地藏)がまつられ、台石部分に「巡行奉る寒中念仏」と刻まれています。

宮本には806年から810年の大同年間にまつられたと伝わる熊野神社があり、1353(文和2)年の銘文の梵鐘(釣り鐘・千葉県指定文化財)に見られるように、王子山光明院安立



台石に刻まれた寒中念仏の文字

寺が神社を管理していました。光明院は江戸時代、八日市場・見徳寺の門徒寺となったため、六地藏の開眼導師など見徳寺住職が勤めましました。

「寒念仏」、「寒中念仏」と刻まれた六地藏のうち、もっとも古い石像は、1732(享保17)年11月23日のもので宮本村「若衆」が中心となり造立しましたが、3年前にも「村中男女」が1体をまつっているので、この頃すでに村に念仏講があり、寒中念仏も盛んだったのでしょう。

熊野神社前道路の側にある1736(享保21)年正月に宮本村中でまつった庚申塔側面の文字から、寒中念仏が夜間にも行われ「寒中夜念仏の邑里」と刻まれた近隣の生尾、山桑、大浦、長岡、松山の各村も回ったのでしょうか。六地藏のうち4体に「寒念仏」、「寒中念仏」とあり、20年余りをかけ1755(宝暦5)年2月24日の造立で6体がそろいました。

六地藏は寺院や墓地の入り口などにまつられ、故人が死後良い世界に生まれ変われることを願って建てられたとされます。

旧八日市場市域では14カ所で確認され、1650年代から1750年代にかけて造立されました。40年振りに訪ねた宮本の六地藏はきれいに整備された墓地にまつられていました。

(市文化財審議会委員・依知川雅一)

問秘書課広報広聴班 ☎73・0080

1/19 寿大学 「新春発表会」開催

寿大学は、おおむね60歳以上の人を対象にした“生きがい講座”です。

受講生による新春芸能発表会が開催されますので、皆さんお誘い合わせの上ご来館ください。



新春発表会の様子(令和5年)

日時…1月19日(日)13時30分～16時30分

場所…八日市場公民館

内容…カラオケ、舞踊、民謡、詩吟、ストレッチダンス

問八日市場公民館 ☎72-0735

文芸コーナー

力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課 広報広聴班
〒289-2198 匝瑳市八日市場 八793番地2
☎73・0080 FAX72・1114

短歌

依知川 雅一 推薦

昭和なら百年となる新年は

心安らか笑顔絶やさず

定まらぬ気候に上着脱着する

秋か冬かと気をもむ日々が

カラスウリ木々からまり赤くなり

夕焼け空にことのほか映え

亡き父の言いし言葉を思いいず

母は強しと離れ住む娘に

老いてなお農婦の性か散歩する

道は我が家の田畑をめぐる

金木犀いが栗ふたついちじくを

お別れ近き貴方へ送る

クリスマス赤と緑の飾りつけ

犬のルシアもルンルン気分

石田 健治 推薦

「この道はいつか来た道」と口遊び

夕焼け空に足取り軽ろし

いきなりの冷気たずさえ吹く風に

うす色コスモスはかなくゆれる

大木 洋一

鈴木 和子

古谷由美子

木下 昌子

大木ヨシ子

内藤喜代美

桑原 宏子

伊橋 良子

伊橋 裕子

俳句

椿 和枝 推薦

生き生きと生きて今年も日記買ふ

峡谷のダム湖は青し紅葉散る

残り二本葉付大根を買ひ占むる

摺り足となりて知る老い花ハツ手

ふたたびは巡り来ぬ日や秋惜しむ

肉まんを抱え仰げりオリオン座

朝寒や襟立てながら雨戸繰る

石田 健治 推薦

小春日や分け入り探す芋のつる

コーラスの最後の曲は四季の歌

川柳

勝又 康之 推薦

又ひとつ良い初夢で歳重ね

初夢でなくてもいいよ吉の夢

初夢はアナタに会いに化粧する

初夢で金貨の風呂に浸った

初夢でテレビドラマの主人公

初夢は亡夫と初の夏祭り

「はつゆめ」で初の特選読書会

石田 健治 推薦

新米のおかずはいらず塩むすび

客人が家の隅々掃除させ

佐々木之子

椎名 晴江

吉井 八流

那須 恒雄

岩井 やす

山崎智恵子

安藤 建子

野仲 妙子

須貝 玉枝

江波戸京子

林 長三郎

岡田けい子

渡部すい子

鵜澤 澄子

佐久間美智子

鶴野千恵子

野仲てつ幹

熱田真こと



匝瑳の農産物の魅力を発信する仕組み

回し、低価格で美味しい食材を提供します。キッチンカーの製作費用を工面するクラウドファンディングや、食材の提供、地域の案内役となるナビゲーターのボランティアなどを募集します。関心のある人の連絡をお待ちしています。

地域おこし協力隊員の／ キラッとふるさと通信 No.06

本市の新たな魅力を発掘する地域おこし協力隊員・北條将徳さんが、活動を通じて発見した「匝瑳の輝き」を紹介します。

匝瑳の豊かな農産物を市内外に発信

厳しい寒さを感じる季節。変わりなくお過ごしでしょうか。私も田んぼのあぜの黒塗りを終えて、冬支度を終えました。自然に囲まれて作業をすると、匝瑳市が農業地帯であることを実感します。

移住当初、農産物の新鮮さと手頃な価格に驚きました。今では農家さんの知り合いも増え、「顔の見える生産物」のありがたみを日々感じます。地域の人たちと始めた「フードパントリーそ

うさ」では、多くの食品の寄付をいただきました。また、昨年立ち上げたブックカフェぐりでは、「子どもの食堂体験」イベントを市内飲食事業者と行いました。地元食材を使うことで、深い食育を提供することができ、この環境だからできる支援に感謝しています。

各種企画の発展形として「誰でも食堂」キッチンカーを製作します。地域の食材を使ったメニューを作り、昼は都市部、夕方以降は地域の各地区を巡